

平成28年度

**学部3年次学生を対象とする特別入試
学生募集要項**

【大学院理工学研究科博士前期課程(工学系)】

物質化学工学専攻
バイオ化学工学専攻
応用生命システム工学専攻
情報科学専攻
電気電子工学専攻
機械システム工学専攻
ものづくり技術経営学専攻

【大学院有機材料システム研究科博士前期課程】

有機材料システム専攻

平成27年12月

**山形大学大学院理工学研究科
山形大学大学院有機材料システム研究科**

博士課程教育リーディングプログラム
「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」
(5年一貫大学院コース) 履修学生募集!!

山形大学大学院理工学研究科(工学系)では、独立行政法人日本学術振興会が公募する「博士課程教育リーディングプログラム」に「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」として応募し、採択されました。このプログラムは、5年一貫大学院コース(定員12名)を特徴としており、平成28年度理工学研究科(工学系)博士前期課程及び有機材料システム研究科博士前期課程入学試験に合格した者で、本プログラムでの履修を希望する方を対象に、入学試験と別に選抜試験を実施します。本プログラムの概要については、11ページに「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院概要」を掲載しています。詳しくは、ホームページ<http://ifront.yz.yamagata-u.ac.jp>を参照してください。

★外部テスト(TOEIC又はTOEFL)の利用について

山形大学大学院理工学研究科(工学系)博士前期課程及び有機材料システム研究科博士前期課程では、以下のとおり外部テスト(TOEIC又はTOEFL)の成績を利用します。

出願時に、外部テスト(TOEIC又はTOEFL)の成績書等を提出いただきますので、御準備をされるよう、お願いいたします。

○対象となる成績書等

①TOEIC

- ア TOEIC(公開テスト)
- イ TOEIC-IP(Institutional Program)

以上の2種類です。

志願する者のうち、上記ア、イのどちらかの成績証明書(あるいはスコアレポート、いずれもコピーは不可)を、入学願書と一緒に提出してください。(平成25年4月1日以降に受験した成績証明書が有効です。また、複数回受験している場合、一番高得点の成績証明書を提出してください。)

②TOEFL

- ア TOEFL iBT(Internet-based Test(インターネット版TOEFLテスト))
- イ TOEFL ITP(Institutional Test Program(団体向けテスト))
- ウ TOEFL PBT(Paper-based Test(ペーパー版TOEFLテスト)現在日本では実施していない)

以上の3種類です。

志願する者のうち、上記ア、イ、ウのどちらかのExaminee Score Report(受験者用控えスコア票で、受験後に米国ETSより受験者宛に1通のみ送付され、原則として再発行はありません。)を提出する者は、入学願書と一緒に提出してください。(コピー不可。)また、上記ア、イ、ウのどちらかのOfficial Score Report(公式スコア票で、受験者の希望により、米国ETSから直接志望団体に送付されるもので、受験者には送付されません。)を提出する者は、出願締切日まで山形大学工学部入試担当まで届くよう手続きを行ってください。(届かない場合、出願を受理しません。)

(平成25年4月1日以降に受験したスコア票が有効です。また、複数回受験している場合、一番高得点のスコア票を提出してください。)

目 次

有機材料システム研究科の設置及び理工学研究科の改組について	1
山形大学大学院理工学研究科（工学系）のアドミッション・ポリシー	2
山形大学大学院有機材料システム研究科のアドミッション・ポリシー	3
I 募集人員	4
II 日程	4
III 学部3年次学生を対象とする特別入試について	
1 出願資格	4
2 出願資格の事前審査について	5
3 出願期間	5
4 出願手続	5
5 入学者選抜方法	7
6 試験場	7
7 合格者の発表	7
8 入学手続	7
IV 受験者心得	8
V 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談	8
VI 授業料	9
VII その他	9
VIII 学生募集要項の請求について	9
IX 入学時の学籍等について	9
X 学士の学位取得について	10
XI 理工学研究科（工学系）の概要	10
XII 有機材料システム研究科の概要	11
XIII 博士課程教育リーディングプログラム	
「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」概要	11

★お問い合わせ先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16
電話 (0238) 26-3013

有機材料システム研究科の設置及び 理工学研究科の改組について

山形大学では、平成28年度から有機材料システム研究科を設置します。これに伴い、下記のとおり理工学研究科博士前期課程（工学系）の機能高分子工学専攻と有機デバイス工学専攻は、新研究科の博士前期課程有機材料システム専攻に統合されます。

また、本件に関連して、改組後の入学定員について、ものづくり技術経営学専攻の入学定員を14人から10人へ減員します。

記

現在の研究科

理工学研究科博士前期課程(工学系)	
専攻名	入学定員
機能高分子工学	30
有機デバイス工学	25
物質化学工学	38
バイオ化学工学	28
応用生命システム工学	23
情報科学	28
電気電子工学	34
機械システム工学	50
ものづくり技術経営学	14

改組後の研究科

有機材料システム研究科博士前期課程	
専攻名	入学定員
有機材料システム	65

理工学研究科博士前期課程(工学系)	
物質化学工学	38
バイオ化学工学	28
応用生命システム工学	23
情報科学	28
電気電子工学	34
機械システム工学	50
ものづくり技術経営学	10

山形大学大学院理工学研究科（工学系）のアドミッション・ポリシー

■概要・特色

山形大学大学院理工学研究科（工学系）は、現在、博士前期課程（Master's Program）と博士後期課程（Doctor's Program）で構成されており、前期課程は、入学定員270人を数え、機能高分子工学専攻、有機デバイス工学専攻、物質化学工学専攻、バイオ化学工学専攻、応用生命システム工学専攻、情報科学専攻、電気電子工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の併せて9専攻を設置しています。

また、後期課程は、平成28年度より、入学定員16人で、物質化学工学専攻、バイオ工学専攻、電子情報工学専攻、機械システム工学専攻、ものづくり技術経営学専攻の5専攻からなります。

本研究科（工学系）前期課程では、「21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して『自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院』を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化・国際化に対応できる教育研究機関」として実践している学部の教育を、更に広い視野に立ち、精深な学識を養い、専攻する分野における研究能力と高度な専門性に支えられた卓越した能力を備えた人材を育成するための修士教育を目標に掲げ、多くの優れた修了生を輩出しています。

後期課程においては、グローバル化の進む中、専攻分野における研究者として自立し、世界に通用する高度に専門的な研究・教育に従事するために必要な高度な研究能力とその基礎となる豊かな学識を養って社会に貢献する人材を育成し、豊かな生活を築き、栄えある未来の創造に寄与しています。

■理念・目標

「専攻分野における学生の探求心に応え、能力を啓発し、自立した人材を育成する」

「専攻分野の基礎知識を礎にした高度専門技術者・研究者・教育者の養成」

「自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院」

■求める学生像

博士前期課程

以下の人材を求めています。

- 専門分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲のある人
- 専門分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に積極的に取り組む人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、行動できる人
- 他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人
- 専門分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人

博士後期課程

上記に加え、以下の人材を求めています。

- 専門分野以外に対しても深い関心を持ち、広い応用力を有する人
- グローバルな視野に立ち、世界で活躍する研究者・技術者を目指す人

山形大学大学院有機材料システム研究科のアドミッション・ポリシー

■概要・特色

高分子材料、機能性有機材料等の有機材料は現代社会を支える重要な材料群の1つであり、その高性能化や新材料・新機能の開発が盛んに行われています。将来的には、他分野との融合や境界領域における利用までをも考慮し、有機材料を最大限に活用した新たな付加価値を持つ有機材料システムの創成が期待されます。山形大学大学院有機材料システム研究科では、有機材料の基礎から応用に至る知識を単に修得するのみならず、それらを核として他分野との連携により拡張される、より広範な有機材料システム分野を教育・研究の対象とし、既存の大学院理工学研究科博士前期課程の機能高分子工学専攻、有機デバイス工学専攻、後期課程の有機材料工学専攻を廃止して、平成28年4月に発展的に新研究科として新設されます。本研究科は有機材料システム専攻から成り、入学定員65人の博士前期課程（Master's Program）と同10人の博士後期課程（Doctor's Program）で構成されています。

前期課程では、「21世紀の社会情勢と産業構造の変革に呼応して『自ら新分野を開拓する能力を育てる大学院』を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化・国際化に対応できる教育研究機関」として実践している学部の教育を受け、更に広い視野に立ち、精深な学識を養い、有機材料システム分野における研究能力と高度な専門性に支えられた卓越した能力を備え、情報をグローバルに発信できる人材を育成することを目標としています。

後期課程においては、有機材料システム分野における研究者として自立し、世界に通用する高度に専門的な研究・教育に従事するために必要な研究能力とその基礎となる豊かな学識を養って、国際的視野に立って自ら研究リーダーとして技術・学術の発展を牽引し社会に貢献する人材を育成することを目標としています。

■理念・目標

「有機材料システム分野における学生の探求心に応え、能力を啓発し、自立さらには新分野を開拓できる人材を育成」

「基礎知識を展開して高度な専門課題にも問題解決能力を有する技術者・研究者・教育者の養成」

「人として高い倫理観を持った技術者・研究者・教育者の養成」

■求める学生像

博士前期課程

以下の人材を求めています。

- 有機材料分野に関する基礎学力を有し、さらに深く学ぼうとする意欲のある人
- 有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探究や研究開発に取り組む人
- 有機材料システム分野に関する知識や技術を通して広く社会に貢献したい人
- 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行できる人
- 他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人

博士後期課程

上記に加え、以下の人材を求めています。

- 専門分野以外に対しても深い関心を持ち、広い応用力を有する人
- グローバルな視野に立ち、世界で活躍する技術者・研究者・教育者を目指す人

I 募集人員

【理工学研究科（工学系）】

専攻名	募集人員
物質化学工学専攻	若干人
バイオ化学工学専攻	若干人
応用生命システム工学専攻	若干人
情報科学専攻	若干人
電気電子工学専攻	若干人
機械システム工学専攻	若干人
ものづくり技術経営学専攻	若干人

【有機材料システム研究科】

専攻名	募集人員
有機材料システム専攻	若干人

II 日程

項目等	月 日
事前審査申請書類提出期間	平成28年1月27日（水）～1月29日（金）（必着）
事前審査結果の通知期日	平成28年2月4日（木）
出 願 期 間	平成28年2月15日（月）～2月18日（木）（必着）
試 験 日	平成28年3月8日（火）
合 格 者 発 表	平成28年3月11日（金）11時（予定）

III 学部3年次学生を対象とする特別入試について

1 出願資格

平成28年3月末において、大学に3年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと志願研究科において認めた者で、以下の条件を満たす者とします。

- (1) 在学期間について
平成28年3月末において、大学における在学期間が3年に達していること。
- (2) 学業成績について
平成28年3月末において、以下の条件をすべて満たすこと。
 - ① 専門教育科目の単位数について
在籍大学の指定した卒業に必要な専門教育科目の単位数から4年次に開講している必修科目と卒業研究の単位を除いた単位数（以下「要件単位数」という。）を第3年次終了までに修得または修得見込みであること。
 - ② 専門教育科目の成績について
要件単位数の全ての成績が100点満点で80点以上であること。（優・良・可，A・B・C等の標記による評価の場合は、点数評価の基準80点以上を満たす評価であること）
 - ③ 専門教育科目を除く科目（教養教育科目等）について
専門教育科目を除く科目（教養教育科目等）については、卒業要件を満たすために必要な単位数以上の単位数を修得済みであること。

2 出願資格の事前審査について

- (1) この出願資格の認定については、次のとおり事前審査を行うので、事前審査申請書類受付期間中に、次の書類をそろえ工学部入試担当へ提出してください。

事前審査申請書類提出先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

【事前審査申請書類】

事前審査申請書	本要項に添付の所定の用紙に、必要事項を記入してください。
在籍大学の成績証明書	在籍大学の学長又は学部長が作成し、厳封されたものとします。
履修登録一覧(※)	3年次に修得見込の科目名並びに単位数も記載されたもの。
出願者の所属する学科等の教育課程表(※)	出願者が所属する学科等の開講科目についての講義内容等が詳細に記載されたもの。(履修の手引等、授業内容一覧、卒業要件単位数が記載されたもの。)
返信用封筒	市販の封筒(長形3号・23.5cm×12.0cm)に郵便番号・住所・氏名を記入し、82円分の切手をはって提出してください。

※山形大学工学部学生は提出不要です。

- (2) 事前審査申請書類受付期間

平成28年1月27日(水)から平成28年1月29日(金)まで

受付時間は、9時から16時30分までとします。

郵送の場合は書留速達とし、1月29日(金)まで**必着**とします。

- (3) 事前審査の結果は、平成28年2月4日(木)付けで本人あてに通知します。

3 出願期間

平成28年2月15日(月)から平成28年2月18日(木)まで

受付時間は9時から16時30分までとします。

なお、郵送の場合も2月18日(木)まで**必着**とします。

4 出願手続

志願者は、出願書類を一括し、所定の期日までに工学部入試担当に提出してください。

なお、郵送する場合は書留速達とし、封筒に「【学部3年次学生を対象とする特別入試】入学願書在中」と朱書してください。

出願書類提出先 山形大学工学部入試担当
〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

【出願書類】

出願書類	出願書類作成上の注意
入学願書	○ 本要項に添付の所定の用紙に、必要事項を記入してください。
写真票 受験票	○ 写真票の所定欄に出願前3か月以内に撮影した上半身、無帽、正面向きの写真(4cm×3cm)をはってください。
外部テスト(*) の成績書等	○ 次の1)～3)のうち、いずれかを提出してください。(コピー不可) (ただし、3)を提出する場合は、受験者の希望により米国ETSから直接志望団体に送付されるので、出願締切日まで「出願書類提出先」に届くよう手続を行ってください。 1) TOEICの成績証明書(あるいはスコアレポート) 2) TOEFLのExaminee Score Report 3) TOEFLのOfficial Score Report

出願書類	出願書類作成上の注意
山形大学入学試験検定料納付証明書	<p>○ 検定料 30,000円</p> <p>ただし、本学出願時に入学後の国費外国人留学生奨学金の受給が決定されている者については、検定料は不要です。</p> <p>1 払込期間：平成28年2月8日（月）から平成28年2月18日（木）まで</p> <p>2 払込方法</p> <p>（1）本要項に添付の所定の「払込書【大学院理工学研究科博士前期課程用】・【大学院有機材料システム研究科博士前期課程用】」を用いて、最寄りのゆうちょ銀行又は郵便局から払い込んでください。</p> <p>なお、ATM（現金自動預払機）は使用できません。必ず窓口で払い込んでください。</p> <p>（2）各票の※印欄に、入学志願者（本人）の住所・氏名・電話番号をボールペンで正確に記入してください。</p> <p>（3）「払込取扱票」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」に志願する専攻名を記入してください。</p> <p>（4）「振替払込請求書兼受領証」及び「山形大学入学試験検定料納付証明書」をゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取る際には、必ず受付銀行又は局の「日附印」があることを確認してください。</p> <p>3 ゆうちょ銀行又は郵便局の窓口で受け取った「山形大学入学試験検定料納付証明書」を提出してください。</p> <p>4 既に払い込んだ検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。</p> <p>（1）検定料を払い込んだが出願しなかった場合（出願書類等を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合を含みます。）</p> <p>（2）誤って検定料を二重に払い込んだ場合</p> <p>（3）出願後に国費外国人留学生奨学金の延長が決定し、本学に入学する場合</p> <p>※ 返還についての問い合わせは、山形大学工学部入試担当へお願いします。なお、申出期限は平成28年3月31日（木）までとします。</p>
返信用封筒	○ 市販の封筒（長形3号・23.5cm×12.0cm）に郵便番号・住所・氏名を記入し、82円分の切手をはって提出してください。
ラベル票	○ 本要項に添付の所定の用紙に、出願者が確実に合格通知書等を受け取ることができる住所等を記入してください。
その他	<p>○ 外国人で、住民登録をしている者については、住民票の写しを提出してください。</p> <p>○ 住民登録をしていない者は、パスポートの写し、本国の戸籍抄本又は市民権等の証明書のうちいずれか1つを提出してください。</p>

【その他の提出書類】

受験者は、平成28年3月4日（金）までに第3年次後期の修得科目を含めた成績証明書を提出してください。（山形大学工学部学生は提出不要です。）

* 外部テストについて

詳しくは、表紙の裏の「外部テスト（TOEIC又はTOEFL）の利用について」をご確認ください。

5 入学者選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、全専攻とも面接及び口頭試問、在籍大学の成績証明書並びに外部テストの成績書等を総合して行います。
- (2) 試験日 平成28年3月8日（火）
- (3) 面接及び口頭試問の日時等

【理工学研究科（工学系）】

専攻	試験時間	試験科目
	9:00～	面接及び口頭試問
物質化学工学専攻		面接は、志望動機、科学技術への関心及び大学院における研究の希望について行います。 口頭試問は、基礎科目・専門科目等の知識について行います。（1人60分程度）
バイオ化学工学専攻		
応用生命システム工学専攻		
情報科学専攻		
電気電子工学専攻		
機械システム工学専攻		
ものづくり技術経営学専攻		

【有機材料システム研究科】

専攻	試験時間	試験科目
	9:00～	面接及び口頭試問
有機材料システム専攻		面接は、志望動機、科学技術への関心及び大学院における研究の希望について行います。 口頭試問は、基礎科目・専門科目等の知識について行います。（1人60分程度）

6 試験場

山形大学工学部試験場 〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

7 合格者の発表

平成28年3月11日（金）11時（予定）

合格者の発表は受験番号のみとし、山形大学工学部掲示板に掲示します。

また、山形大学工学部・大学院 理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>) に合格者の受験番号を掲載します。（発表直後はアクセスが集中し、つながりにくい場合がありますので、その際は、しばらく時間をおいて再度アクセスしてください。）

なお、合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続期間
 - 平成28年3月22日（火）から平成28年3月25日（金）まで
 - 受付時間は、9時から16時30分までとします。
- (2) 入学料
 - 入学手続の際に、入学料を納付していただきます。
 - 入学料 282,000円
- (3) 提出書類
 - 詳細については、合格通知の際にお知らせします。
- (4) 留意事項
 - 入学手続完了者が、平成28年3月31日（木）までに入学を辞退した場合であっても、入学料は返還しません。

IV 受験者心得

1 受験票について

- (1) 試験当日は、**受験票を必ず持参**し、試験場に入場する際に提示してください。
- (2) 試験場では、常に受験票を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。
- (3) 試験当日、受験票を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
- (4) 受験票を紛失した場合は、速やかに工学部入試担当に申し出てください。
- (5) 受験票は、入学手続の際に必要となりますので、合否が確定するまで大切に保管してください。

2 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合もあります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ試験前日までに米沢市に到着するなど、各自の責任において必要な対応を取ってください。

3 受験者は、試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。

4 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。

5 **試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。**

6 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。

7 筆記試験等における留意点について

- (1) 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの）、目薬です。
 - (2) 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
 - (3) 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
 - (4) 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 8 携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っているとなることがあります。
- 9 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 10 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 11 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 12 受験者以外は、試験場建物内に立ち入ることができません。
- 13 受験のための宿泊施設については、本学ではあつせんしません。
- 14 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。

また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学とは何ら関係なく、個人情報が悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

V 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談

本学に入学を志願するもので、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する者は、入学願書の出願受付開始前に工学部入試担当（電話(0238)26-3013）に相談してください。

なお、相談内容によっては、本学において事前の準備を必要とする場合がありますので、できるだけ早めに相談してください。

VI 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料 年額535,800円（予定額）

- (注) 1 上記の金額は、未確定のため予定額です。
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

VII その他

- 1 提出いただいた入学試験に関する個人情報には次の目的のために利用し、当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
 - (1) 入学者選抜試験実施のため
 - (2) 入学手続業務のため
 - (3) 入学統計調査のため
 - (4) 就学上必要な本学での業務のため
 - (5) その他大学として必要な業務のため
- 2 入学試験後に出願資格を満たさないことが確定した場合又は提出書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は、入学決定後であっても入学の許可を取り消すことがあります。

VIII 学生募集要項の請求について

1 直接来学する場合

工学部入試担当の窓口で配布します。(土・日曜日、祝日を除きます。)

2 郵便による請求方法

<請求先>

山形大学工学部入試担当

〒992-8510 山形県米沢市城南四丁目3-16

- (1) 山形大学工学部入試担当あての封筒の表に、「【学部3年次学生を対象とする特別入試】学生募集要項請求」と朱書してください。
- (2) 封筒の裏には、請求する方の郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。
- (3) 返信用封筒(角形2号・33cm×24cm)を同封してください。封筒の表には請求する方の郵便番号・住所・氏名を必ず記入してください。
- (4) 郵送料は205円(速達で返信を希望する場合は485円)です。返信用の封筒に郵送料分の切手をはってください。

IX 入学時の学籍等について

本出願資格により、本研究科に入学した場合は、**在学中の大学の学籍上の取り扱いは「退学」となり、学士の学位は授与されません。**

なお、大学によっては、早期卒業制度を実施している場合があります。この制度の対象になり3年次で卒業できる場合は、この限りではありません。詳しくは当該大学の教務担当部署において、ご確認願います。

X 学士の学位取得について

大学を卒業していなくても、大学評価・学位授与機構が定める基礎資格（大学に2年以上在籍し62単位以上を修得した者）を有する者は、大学評価・学位授与機構の定める学修年限及び単位数（基礎資格校の大学分を含めて、満4年が経過していることと、4年以上にわたる学習によって所定の単位数以上修得していること（大学院の在籍期間を含む））を満たすことにより、大学評価・学位授与機構から修得単位の審査を受けるとともに、学修成果・試験の審査にも合格することによって学士の学位取得ができるという途が開かれています。内容の詳細は、学位授与機構が発行する当該年度の「新しい学士への途」を取り寄せ確認してください。

なお、大学評価・学位授与機構のホームページ (<http://www.niad.ac.jp>) で確認してください。

XI 理工学研究科（工学系）の概要

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取り扱います。

平成28年度の博士前期課程（工学系）の専攻は次のとおりです。

理工学研究科 博士前期課程 （工学系）	物質化学工学専攻
	バイオ化学工学専攻
	応用生命システム工学専攻
	情報科学専攻
	電気電子工学専攻
	機械システム工学専攻
	ものづくり技術経営学専攻

平成28年度の博士後期課程（工学系）の専攻は次のとおりです。

理工学研究科 博士後期課程 （工学系）	物質化学工学専攻
	バイオ工学専攻
	電子情報工学専攻
	機械システム工学専攻
	ものづくり技術経営学専攻

2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部・大学院 理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>) 内の以下のページをご覧ください。

○専攻毎の担当教員一覧 : <http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/admission/admissiondaigakuintop.html>

○平成27年度開講科目のシラバス : <http://www.yamagata-u.ac.jp/gakumu/syllabus/2015km/top.htm>

XII 有機材料システム研究科の概要

1 研究科の組織

本研究科は、前期2年及び後期3年に区分し、前期2年の課程を修士課程、後期3年の課程を博士課程として取り扱います。

有機材料システム研究科 博 士 前 期 課 程	有機材料システム専攻
----------------------------	------------

有機材料システム研究科 博 士 後 期 課 程	有機材料システム専攻
----------------------------	------------

2 各専攻担当教員等

詳細については、山形大学工学部・大学院 理工学研究科／有機材料システム研究科ホームページ (<http://www.yz.yamagata-u.ac.jp/>) 内の以下のページをご覧ください。

○専攻毎の担当教員一覧 <http://www2.yz.yamagata-u.ac.jp/admission/admissionorganictop.html>

XIII 博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」概要

博士課程教育リーディングプログラム「フロンティア有機材料システム創成フレックス大学院」は博士課程5年一貫のコースです。専攻に関係なく本コースに参加することができます。

本コースの特徴は、産学官にわたり活躍する2つの能力を備えた、「フロンティア有機材料システム」などの新しい分野を創成する価値創成グローバルリーダーを育成することです。2つの能力とは、

1. 「フロンティア有機材料システム分野」創成に挑戦する創造性
2. 「グローバルリーダー」としての主体性

のことです。

本コースを希望するものには、入学試験とは別に選抜試験を実施します。

詳しくは、ホームページ <http://ifront.yz.yamagata-u.ac.jp>をご覧ください。